



# こだまネット

信州大学・自然環境診断マイスター

発行：こだまフォーラム

今回は、マイスターの究極の目的である「診断する」という点について考察してみましよう。マイスターは、自然環境の“医者”として部分（一分野）から全体（すべての分野の総合）まで、診断することが求められているのです。

## 診断するということ

自然環境を診断するとはどういうことでしょうか。診断には、大別して二つあるといえます。それは、全分野にわたる総合的診断とひとつの分野の部分的診断です。もちろん、部分と全体はつながっているのです。

医者診断を例に上げて説明しましょう。まず、総合的診断とは、内科、外科、眼科、歯科、脳神経外科など全分野に渡って総合的に調べ、診断してもらう、いわば、人間ドッグ方式です。部分的診断とは、外来に多い内科なら内科のみの診断です。

診断には、とりあえず総合的な人間ドッグ方式と部分診断方式があるということです。自然環境診断も同様の二つの方式があてはまるといえるでしょう。人間ドッグ方式では、地質・気象・水質・土壌・植生・文化財・湖沼生態などを全分野にわたって調査し、総合的に診断を下すもの、部分診断方式は、水質なら水質についてのみ診断を下すものです。もちろん、水質においても、その原因を遡って行けば、農業問題、下水処理の問題、あるいは、上流域の森林環境にまで広がる場合もあるでしょうが、あくまで部分の積み上げになり、始めから総合的に実施する方式とは異なります。

現実の診断は、部分方式が多いものと思われる。総合方式は、時間と多大な費用がかかることも念頭におかなければなりません。

診断にあたっては、他の視点も必要です。例えば、2008年世界の飢餓人口は9億6千3百万人(FAO)いて、一日平均2万6千人が餓死しているそうです。一方、アメリカでは、肥満に苦しむ人が、人口の30%強おり、我が日本では、コンビニ、スーパー、ファミレスなどから、毎日、賞味期限切れなどで手付かずで多量の食糧が捨てられていて、食物残渣の総量は年2千3百万トンに達しているということです。これは人間が産み出した社会システムから生じている、資源配分の問題です。また、地球温暖化問題で、温暖化物質はCO2以外にメタンがあることは、皆さんご承知のとおりです。しかし、このメタンが最も多く発生しているのは、自然環境で重要な湿地だという事実です。その次に多いのがウシのゲップだということです。上記の例だけ見ても、視点を変えた多方面からの診断が必要だといえそうです。

また、一部の専門家で指導的立場におられるマイスターを除けば、私たち多くのマイスターは、学者や先生方のようなレベルにはなく、専門家でもないという立ち位置にあります。従って、診断に当たっては先生方を始め、大学院生などの協力を得ることが必要不可欠だといえます。一般マイスターに出来ることは、マイスター実習、講座で学んだことに、自分たちの社会経験を加味して診断及び対策を立てるということでありましよう。とりわけ、対策を立てる際には、社会経験を役立てることが出来そうです。さらに、我がこだまネット会長宮下マイスターが、やまびこ公園自然観察会を実現させたように、企画し実行する行動力がマイスターに求められている大きな資質のひとつであるといえそうです。まとめると、

- ① 診断には、総合診断と部分診断がある。
- ② 診断には、社会システムの矛盾や相反する視点など多方面の見方が求められる。
- ③ 診断には、大学の先生方、大学院生などの協力が不可欠であるので、日ごろのネットワークを大切に、維持しておくこと。
- ④ 一般マイスターは、自分の社会経験を活かすこと。
- ⑤ マイスターには、企画し、実行する行動力が求められている。

の5点が当面あげられます。各マイスターの皆様にもこの他気付かれた点がありましたらお知らせ頂きたく、お待ちしております。(編集部)

## もくじ

- 第1面 診断するということ…編集部
- 第2面 企画書の例…宮下マイスター
- 第4面 活動コーナー…大洞マイスター
- 第5面 活動コーナー…三浦マイスター
- 第6面 自然環境関連・社会の動き…編集部
- 第7面 佐藤先生からのお知らせ
- 第8面 お知らせコーナー

# ● 企画書の例

## 宮下マイスター

我がこだまネット会長、宮下マイスターが「やまびこ公園・自然観察会」を企画した時に作成した企画書をご紹介します。今後、各マイスターが企画される場合、大いに参考になるものと思います。ご活用ください。(企画書はレイアウトも重要なので、配信されたままのものを掲載しました。)

### 『自然観察会について』

#### 企画者資料

**企画目的** 生活の中で、普段見慣れた自然を観察、学習することにより、身近な自然の楽しさや、不思議さ、自然の持つ力や、その危うさを再確認することで、自然の大切さを考えるきっかけになればと企画した。

**企画主催** 信州大学 自然環境診断マイスター 自然観察グループ

**後援(予定)** やまびこ公園管理公社、岡谷市生涯学習課

**実施場所** 岡谷市鳥居平やまびこ公園内

**実施対象者** 自然に興味のある小、中学生とその家族  
一般の方の参加も可。

**実施予定日** 平成 21年5月2日(土) \*日程変更の場合あり  
午前 10 時より昼食時間の 1 時間をはさみ午後 2 時 30 分頃まで  
9 時 45 分までに現地集合し、点呼を行う。  
小雨実施であるが、判断できない場合 9 時までに管理事務所に確認の事。

**実施方法** 参加者を(A)、(B)の2グループに分け、  
A 班は午前 10 時 15 分より樹木を中心とした植物観察、  
午後 1 時より昆虫類を中心とした小動物観察を行う。  
B 班は午前 10 時 15 分より昆虫類を中心とした小動物観察、  
午後 1 時より樹木を中心とした植物観察を行う。  
\* 午前中のみ参加、または午後のみ参加も可。

観察コースは鳥居平やまびこ公園内の、サイクリングコース、アスレチックコースなどのルートを散策しながら、事前に設定したポイントにて担当者が解説を行う。

解説内容は、たとえば樹木の場合、その樹木が持つ特性や由来、エピソードを交えて、家族全員で興味が持てる様、幅広く実施したい。

解説(講義)はあくまでも、参加した小学生が理解できることを前提で行い、質問等は、その場で受け付け、即答できる範囲で回答する。

その場で回答できなかった質問は、担当者が宿題として持ち帰り、責任を持って、質問者に回答をする。

今回の観察会での質問以外の質問も原則的に受け入れる。

その際の窓口は、「宮下(自然環境担当)」とする。

質問方法、回答方法は、メールか手紙とする。

**集合** 参加者が個々にやまびこ公園管理事務所前に集合。

**費用** 参加一人 100 円負担(保険料、資料作成代など)  
午前のみ、午後をみの参加者についても同額

**実施時間** 午前 10 時より午後 2 時 30 分ころ

**時間配分**

- 9:45 集合、点呼
- 10:00 説明
- 10:15~11:50 午前観察会
- 12:00 昼食
- 13:00~14:30 午後観察会
- 14:30 解散

**公示方法**

企画者(自然観察研究グループ)が開催 10 日から 1 週間前に、岡谷市民新聞、信濃毎日新聞、その他の新聞にて記事広告のお願いをする。  
また、岡谷市報などに開催の告知をお願いする。  
参加者の申し込み受付、当日の受付は、やまびこ公園にお願いしたい。

**事前準備** 観察会実施日の、1 週間から 2 週間前に現地踏査を行い、各担当講師は観察地点の選定、観察内容などの計画を立て、計画書を作成する。

各担当者は、計画書を元に、全体で、内容、コース選択、時間等の打ち合わせを行い、重複しないよう留意する。

**講師** 信州大学自然環境診断マイスター、自然観察研究グループ 7 名。

**自然観察研究メンバー**

- 宮澤 豊 (白馬町) 昆虫類、植物
- 池田正史 (御代田町) 木本、植栽樹木一般
- 佐藤仁昭 (安曇野市) 野鳥類、草本
- 中野國光 (塩尻市) 森林、樹木
- 五味直喜 (富士見町) 植物(きのこ類)、小動物
- 奥原松男 (松本市) 底生生物、親水
- 宮下哲則 (岡谷市) 生物史、自然環境

**講師費用** 原則無料

**観察内容** やまびこ公園内の植栽樹木や草花、生息している昆虫、小鳥などの生息状況、及びその特徴やエピソードなどについて実際の観察や資料などを基に解説する。  
また、身近にある自然環境や、過去、及び現在、予想される今後の生息環境について資料等を基に解説する。

(2008.11.2)

# ● 活動コーナー

## 大洞マイスター・講演予定/12月8日報告

### ◆ 長野県出前講座 大洞マイスター講師

#### 公開講座のお知らせ

期日:平成21年3月21日

場所:長野市吉田東町公民館 大会議室

主催: 信州大学自然環境診断マイスター  
こだま会会長:宮下哲則 (岡谷市)

講座担当:大洞盛胤 (長野市)

#### 1. 9:30-11:00 地球温暖化の現状

世界の現状、原因、影響、長野県における温暖化の実態、気温、雪、生物への影響  
県環境保全研究所研究員:浜田 崇氏

#### 2. 11:10-11:50 自然エネルギーの利用

太陽光発電の特性とコスト、森林の二酸化炭素吸収、きのこ廃培地からエチルアルコール  
自然環境診断マイスター・長野市温暖化対策地域推進計画策定作業部会委員:大洞 盛胤

昼食 / 弁当類 朝、受付にて注文受けます

#### 3. 12:45-13:00 オカリナ演奏

マイスター 西川 朋子 公認オカリナ講師

#### 4. 13:10-14:10 県ふるさとの森林づくりへの取り組みと林CO2吸収について

・森林の現状と課題、取り組み、CO2吸収、評価、森林づくり事例

県地方事務所林務課指導員:中宿 恵司氏

#### 出前講座の分野

区分:

1. 河川・湖沼・地下水
2. 大気
3. 騒音・振動・悪臭
4. 有害物質
5. 廃棄物等
6. 地球環境
7. 植物・動物・自然
8. 里山保全
9. 細菌・ウイルス
10. 食品
11. 生活
12. 科学一般

(2008.11.28)

### 大型猛禽類の生態と森林施業について

～生物多様性の観点から～

敬称略

平成 20 年12月8日・18:00-20:40 メトロポリタンホテル  
基調講演:今井 正・自然写真・得意の分野:希少猛禽類・山形県

基調報告:峰岸 郁生・長和町イヌワシ調査グループ  
パネルディスカッション:由井 正敏・岩手県立大教授  
片山 磯雄・長和町イヌワシ調査グループ(会員8名)、小柳 守男・日本野鳥の会長野支部長、堀田昌伸・県環境保全研究所、上野 司朗・中部森林管理局計画部長、日本野鳥の会、市自然環境保全委員、NPOメンバーを中心に 200 名ほど参加。

私は、腎臓透析を終えて、今井氏の話(スライド)の途中から参加した。

イヌワシ:希少野生動物、天然記念物。全長 78-95cm 翼開長 170-210cm 森林環境の悪化から、絶滅の危機。北海道から九州までで個体数は 650 羽 草原や低木地帯のノウサギ、ヤマドリ、ヘビ等を捕食。行動範囲/つがい毎に 20-250 km。崖地や大木に営巣。幼鳥は 29%以上巣立ちが無いと個体数は減少。通常2個の卵から1羽だけ育つ。県 2007 年までの 10 年間で 20.6% (昭和 55 年代は 50%) 国内で年 20 羽程度しか

育たない。木曾管内で 34 つがい確認。人間の接近に敏感で繁殖を中止することもある。

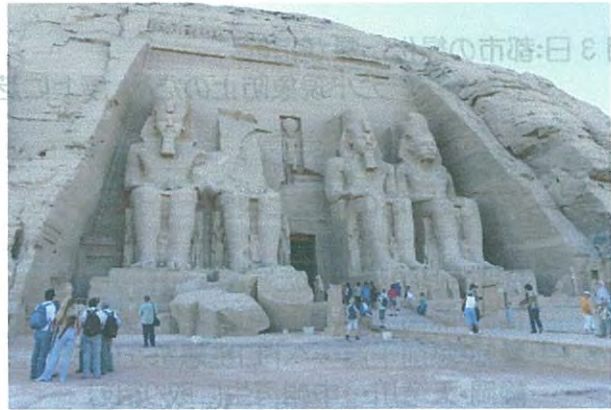
クマタカ:希少野生動物、全長 70-83cm 翼開長 138-169cm、北海道から九州までで個体数は 1800 羽。草原や低木地帯のノウサギ、ヤマドリ、ヘビ等を捕食。行動範囲つがい毎に 8-25 km。卵1個ヒナ 7-8 月に巣立ち。県のデータは、まだ少ない。

長和町・美ヶ原林道沿いに間伐したり、ところどころ間伐して、草地を作り、餌のノウサギの隠れ場をいくつか試作実験した。ウサギは、逃げ口が複数ある明るい見通しのよい隠れ場に潜んで、次へと行動している。雪の多い地域はウサギの隠れ場は適さない。猛禽類は、見通しの良い低木地帯や草地(笹地は餌の小動物が動けず駄目)にいる小動物を狙う。

猛禽類が繁殖する森林は、等高線に沿った列状間伐地帯とか林道沿いの間伐が有効で、管理も全面より安くあがる。猛禽類の飛来も確認されている。どこでも良いと云うことでなく、行動している範囲の中でないと有効にならない。国有林は間伐計画は、150%増加させる計画。全国の民有林が 40%占めるが、ここも70年に一回、間伐していけば、イヌワシの餌場は確保出来る。間伐材の利用も進み始めている。要旨のみ。(大洞記 2008.12.9)

# ● 活動コーナー 三浦マイスター・エジプトの旅/仰山塾 in 天竜の発足会

11月、三浦マイスターがエジプトを旅してきました。詳細は、メールをご覧ください。なお、島野先生の感想・補足を含め、当編集部で冊子に編集させて頂いたものが三浦マイスターのところにあります。ご希望の方は、三浦又は池田(編集部)まで申し込んでください。



「木並ヒマの神聖堂」記念 (2008. 12. 5)

## 「仰山塾 in 天竜」の発足セレモニー

三浦です。  
予てより企画していた、月尾嘉男先生を塾長とする自然塾「仰山塾 in 天竜」の発足セレモニーを11月29日に開催しました。続いて「月尾嘉男・講演&トーク in 南信州」を開催し、月尾先生から「地域再生の戦略」と題した講演と月尾先生、牧野飯田市長、かぶちゃん農園 籾木社長による「南信州から何を発信できるか」のテーマでトークセッションを開催しました。100名ほどの参加でしたが大いに盛り上がり大変好評でした。

「地域再生の戦略」では「崩壊する日本」から財政・エネルギー自給・出遅れ情報・学力・安全・倫理・貧困率などが、ここ数年国際レベルで大幅に低下している…具体的な数字を提示され唖然としました。地域格差が大きくなっている。絶望と考えるか、好機と考えるか。歴史環境の再生・商業環境の再生・自然環境の再生・地産地消の推進について、成功例を実例を挙げて解説し、大変興味を持ってました。

※自然環境の再生では、先日マイスター研修で学んだ霞ヶ浦の再生活動(西廣 淳氏 講演)が紹介され嬉しく思いました。

トークセッションでは牧野飯田市長の環境に対する思い入れ(環境モデル都市・おひさまと森、自転車が盛んなっていることなど)と籾木社長(干し柿・かぶちゃん

農園で全国紙に大きく広告して話題を呼んでいる)が、なぜ南信州で事業を始めたかについて熱く語り月尾先生が、南信州の魅力を語りながら、地域力を発揮するようにお話いただきました。

自然塾設立の代表世話人として、大変緊張しましたが、「持続可能な地域社会づくりの活動を続けて、魅力ある南信州を全国へ発信したい」と挨拶させていただきました。講演後、先生を交えて今後の活動について話し合いましたが、(来年6月頃と10月頃飯田に来ていただく予定)牧野飯田市長も、籾木社長も「塾生」になって頂きました。

全国に18の自然塾があり、来年の自然塾全国大会が白馬の「白馬仰山塾」で開催されます。お手伝いすることになりました。先生のお話は有意義です。機会を作って「しん!リンク」で先生の講演会が出来たらと思っています。地方新聞の記事と先生との写真を添付します。「月尾先生の「地球千年紀行～先住民族の叢智に学ぶ」第4回 国境を越えて守る命ー北欧ラップランド サーミ」が再放送されます。12月7日(日)20:00～20:50 BS-i 生命圏域のお話で見ると価値はあります。

(三浦 2008.12.3)

# ■ 自然環境関連情報 ■ 新聞報道から(2009.1月1日~22日)

信濃毎日新聞の報道を中心に、自然環境関連の動きを見てみましょう。ちょっと拾っただけですが、いろいろな分野がありますね。

- ◆ 1月1日:土をつかむ広葉樹
  - ・コナラの根の強さはスギの倍以上
- ◆ 1月3日:都市の緑化 県が指針
  - ・ヒートアイランド現象防止のため、屋上に芝、壁にツタを
- ◆ 1月4日:信頼を食卓に
  - ・無農薬栽培の失敗と模索
- ◆ 1月5日:生息地追われる鳥たち
  - ・福島・照島…島が細り樹木も減少
  - ・愛知・藤前干潟…ヘドロ生態系を破壊
  - ・静岡・天竜川…中州再生に取り組む
- ◆ 1月7日:天然記念物「笠取峠のマツ並木」
  - ・立ち枯れ止まらず
- ◆ 1月9日:オーガニックガーデンの進め
  - ・植物に必要な暗闇…きれいなイルミネーション、木にとっては？
- ◆ 1月10日:遺伝子組み換え生物
  - ・生態系被害、輸出国が賠償
- ◆ 1月22日:オバマ大統領就任演説より
  - ～われわれは太陽や風力、大地の恵みを利用して自動車を動かし、工場を稼働させる。～
  - ～古き友、かつての敵とともに核の脅威を減ずるための努力を重ね、地球温暖化を食い止める。～



## ● 本の紹介

今回は冬の夜長、診断に必要な自然環境に関する哲学書を紹介します。そんなにむつかしくありません。

1. **環境の哲学**；桑子敏雄；講談社学術文庫；1999. 12；¥920+税
  - ・空間の豊かさ、山川草木国土論など自然環境へのかかわり方を示唆
2. **自然と人間の哲学**；内山 節；岩波書店；1988. 2；¥2,170
  - ・文字通り自然と人間との在り方を論じた自然哲学。去年まで信濃毎日新聞に連載でおなじみの哲学者
3. **イカの哲学**；中沢新一・波多野一郎；集英社新書；2008. 2；¥680+税
  - ・特攻隊の生き残り波多野氏がふと気づいた「イカの命と人間の命」の重さのちがいからの平和学

## ● 佐藤先生からのお知らせ

佐藤先生から次のようなお知らせがありました。再確認しておきましょう。

竹脇さまみなさま。

発表会での審査や会議など大変ありがとうございます。みなさま忙しいなかでのつなわりプログラム、第3コースもみなさまの協力で修了いたしました。いろいろ立場の多忙のなかで、マイスター(しんリンク)活躍がつづくこと心から楽しみにしております。以下おくれればせながら皆様への連絡として、このメールに便乗させていただきます。

来年度の全学教育機構で主題別 A 科目「自然環境マイスターの環境活動の実践:仮題」として後期(21年10月から22年1月)マイスター修了生から7人のかたに2コマの講義分担を準備中です。まだ詳細と結論は先ですが、今回以下の方々に最初の試みに協力していただきたいと計画中です。これが動き出すと、つづぎとリレー講義を皆様に依頼することになろうと存じます。小さな心がまえよろしくおねがいたします。

(1)今回は佐藤1コマ(ガイダンス)

宮澤豊・松澤・今井・広沢・竹脇・三浦・池田さん各2コマ、を計画しました。推薦理由は明確ではありませんが、メールでの活躍・語りたいことの量・マイスター仕事分担(会長・副会長をのぞく)などを加味して「試作講義」とさせていただきます。ほかのかたがたも近く特別依頼あるかと存じますのでよろしくおねがいたします。

(2)信州大学環境マインド推進委員会(?)主催のシンポジウムが3月10日(火)のPMに開催されます。このたび事務局さんからの特別枠としてマイスターさんからのパネラー(口頭発表2件)が許可されました。

各30分2名として。

(1)大洞盛胤 講師(2コース) 地球温暖化対策 ~自然エネルギーの利用

(2)松澤 等(?) 講師(1コース) 自然環境診断マイスター(しんリンク)の実践活動と将来(?)

短いですが、マイスターアピールよろしくおねがいたします。

なお(2)松澤さんはまだ(仮)ですので1コースの皆様からの推薦と題目決定、本日中によろしくおねがいたします。

いろいろあわただしいですが、学期末の多忙とどうようマイスター修了式までの多忙さよろしくおねがいたします。

とりいそぎ

ささらほうさら 佐藤 杯(楽しい盛大なご苦労さん会でした)

(2009.1.13)



昨年末、マイスターから下記のような質問があり、他のマイスター及び先生方がご回答を寄せられました。編集部では、4編を特集でとりまとめました。ご希望の方には配布いたしますので、池田(編集部)までお知らせください。

### 質問

- 1.地球の年代測定について(08.12.6)
- 2.硫黄岳植生について(08.12.6)
- 3.動物の体について(08.12.19)
- 4.風力発電について(08.12.6)

### 質問者

- 宮下マイスター  
滝澤マイスター  
三浦マイスター  
大洞マイスター

### 回答マイスター

- 三浦マイスター  
池田マイスター  
宮下マイスター

### ご回答の先生

- 石田先生  
島野先生  
東城先生



# お知らせ

## 2009年度の活動予定

### ◆ 活動の記録とお知らせ

- 1. 2009年1月10日：第3コース ポスター発表
  - ・午前：マイスターしんリンク役員会・**西川マイスター新役員就任**

- ・17:00：こだまネット(第2コース)新年会 13名出席
- 2. 藤森マイスターよりお知らせ

・信州大学放送公開講座  
 タイトル：地球の未来を守れ～環境への取組～

放映テレビ局：SBC

放映日時：平成21年1月17日～2月21日  
 毎週土曜日, 15:30～16:00(詳細は1月14日メール参照)



### ◆ 今後の活動予定

- 1. 2009年3月10日：信州大学環境マインド推進委員会(?)主催のシンポジウム  
大洞マイスター講師
- 2. 2009年3月14日：第3コース修了式・**藤森さん、小岩井さんがマイスターとなります。**
- 3. 2009年3月21日：長野県出前講座・大洞マイスター講師・詳細は4面  
同講座終了後、こだまネット会議
- 4. 2009年5月2日：第二回自然観察会・自然観察グループ・やまびこ公園
- 5. 2009年6月中旬：しんリンク主催・環境シンポジウムの予定(霧ヶ峰)

### 編集後記

2009年も早1ヶ月が過ぎました。大寒に入り、冬本番のはずですが、何となく温かい日が多いようです。とはいえ、寒暖の差が大きい時期ですが、皆様には益々ご健勝のことと拝察いたします。

アメリカ、オバマ大統領の就任式(2009.1.20)の熱狂ぶりにはおどろかされました。それだけ行き詰まっていたということでしょうか。それに引き換え日本は…。

今号は、先生方年度末で超多忙のため、ご挨拶文は延期させていただくこととなりました。ご了承ください。

大洞・三浦両マイスターのご活躍には頭が下がります。当編集者はじめ、他のマイスターも両マイスターに負けないよう、活動しましょう。

1月10日には個性派ぞろいとうわさの高い第三コースのポスター発表が終り、修了式を待つばかりとなりました。楽しみのような、不安のような…?我が第二コース留年中の藤森さん、小岩井さんの二人も修了し、こだまネットもフルメンバーとなります。いよいよ今年は実質的な初年度となります。心新たに有意義にそして楽しく活動して行きましょう。

発行：〒389-0206 北佐久郡御代田町御代田 2383-10 TEL:0267-32-9350  
 池田 正史